

研究テーマ	山梨県固有のデザインソースの編集とアーカイブ構築		
担当者 (所属)	串田賢一・渡辺誠・鈴木文晃・佐藤博紀 (デザイン)・石田正文・三井由香里 (電子材料) 五十嵐哲也・秋本梨恵 (富士工技セ)		
研究区分	総理研研究	研究期間	平成 25～27 年度

【背景・目的】

中小企業が魅力ある商品開発を行うためには、地域資源の有効活用を図ることがこれまで以上に重要になってきており、より深みのあるコンテンツづくりとその流通に取り組む必要が高まっている。

本研究は、地域の中で眠っている地域資源や歴史資源を調査し、中小企業が商品開発に活用することのできるデザインソースとして編集～公開することで、オリジナリティあふれる商品創出に資することを目的としている。

【得られた成果】

整備するデザインソースを「形状」「模様」「色彩」「物語」の4つに分類・定義し、対象の有形無形を問わず取材～編集作業を行い、累計1,275点（今年度作業分966点）のソースを作製した。

また、デザインソースの管理及び一般公開用のメディアとして、スタンドアロン型、Webサイト型の2種の動的データベースについて、その基本的な構造を作製した。

- ・「形状」 ————— 累計120点
県協力機関のほか、南アルプス市、韮崎市、北杜市等の協力により、考古資料や農具等、108点を3次元スキャンし、stlデータ化した。(図1)
- ・「模様」 ————— 累計467点
早川家の染色用型紙、富士工業技術センターの甲斐絹コレクションから選択した資料を基に、シームレスパターン370点を新たに作製した。
- ・「色彩」 ————— 累計212色
甲府北部、北杜市、南アルプス市、早川町等、県内25地点において採取した土について異物除去等の処理を施し、新たに60色をコレクションするとともに、分光測色計によりLab値を整備した。(図2)
- ・「物語」 ————— 累計458点
本県に伝わる昔話・伝説を調査し、428点についてテキスト化またはPDF化した。また、物語の舞台となった建築物、物品等を取材し、情報を補完した。
- ・「デザインアーカイブ」 ————— 2種
スタンドアロン型についてはFilemakerPRO、Web版についてはWordpressを用いて動的データベースの構造を作製した。(図3) なお、Web版のデータベースは現状では100点のデザインソースのみを掲載した状態であり、一般公開は行っていない。



図1 3次元スキャン対象物の一例



図2 土の色のコレクション（一部抜粋）



図3 Web版データベースのトップ画面

【成果の応用範囲・留意点】

作製したデザインソースは、宝飾品の形状や織物の色・柄をはじめ、食品や印刷・パッケージなど、様々な産業分野において活用することのできるデジタルデータとなっている。